

スリム型ロータリー網戸

取付説明書

株式会社 川口技研

営業本部 ●埼玉県川口市上青木1-14-41 〒333-0844
電話 048(255)5411 FAX 048(255)8228
ホームページ <https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

この度は、スリム型ロータリー網戸をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
取付ける前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取付け・使用ください。(要保管)



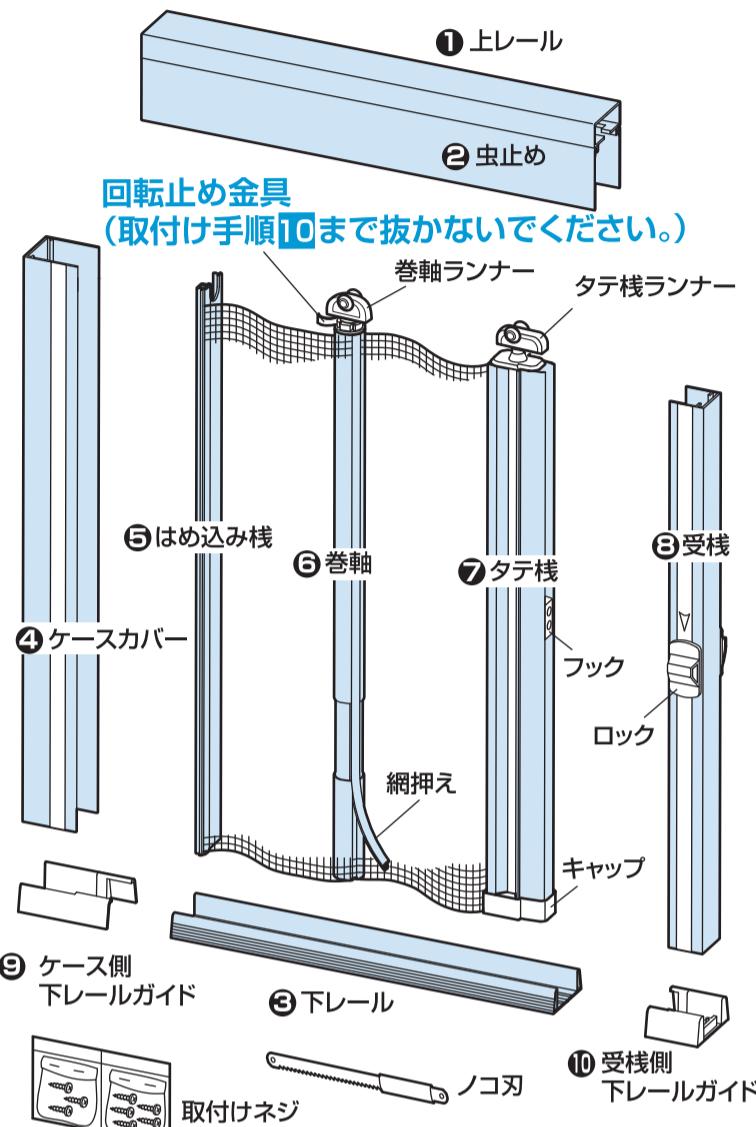
スリム型ロータリー網戸



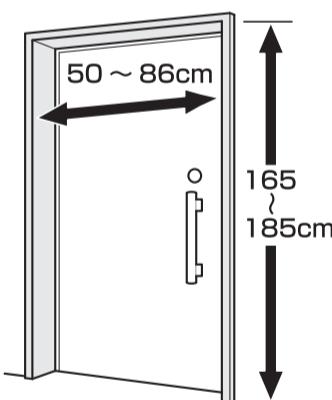
取付け方を動画で
ご確認いただけます

部品一覧

下記の通り部材がそろっているかご確認ください。



取付けできる寸法



使用工具



メジャー



プラスドライバー

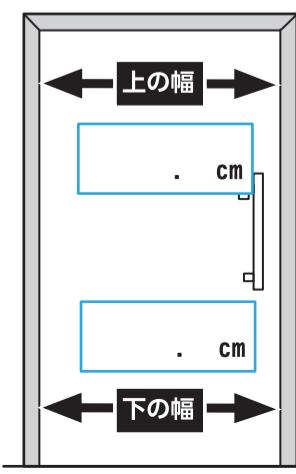


ハサミ

取付手順

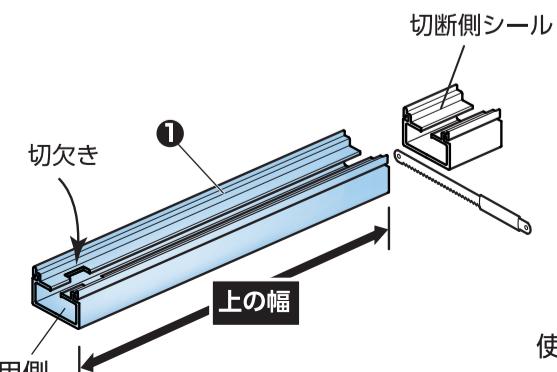
1 部材の切断 ヨコ

網戸を取付ける幅を上下測ってください。ヨコ部材を切断します。



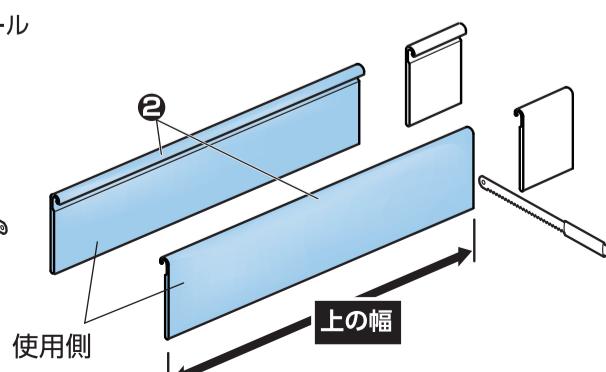
① 上レールの切断

虫止めを抜いて、測った上の幅に合わせて切欠きの反対側を切断します。



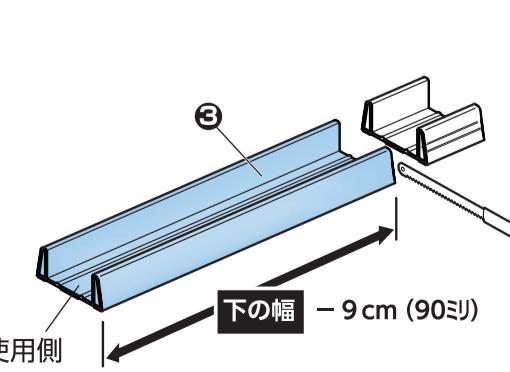
② 虫止めの切断

上レールと同寸法に切断します。



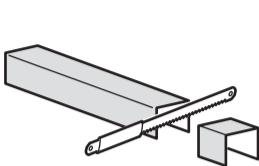
③ 下レールの切断

測った下の幅より9cm(下レールガイド分)
短い寸法になるように切断します。

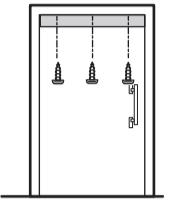


おおまかな作業

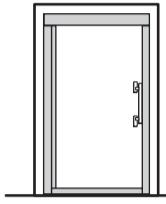
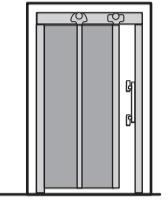
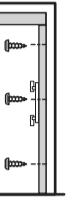
① 取付け部分の寸法を測定し部材を切断。



② 木枠に枠を固定。



③ 网戸本体の取付け。 ④ 下レールを取付け。

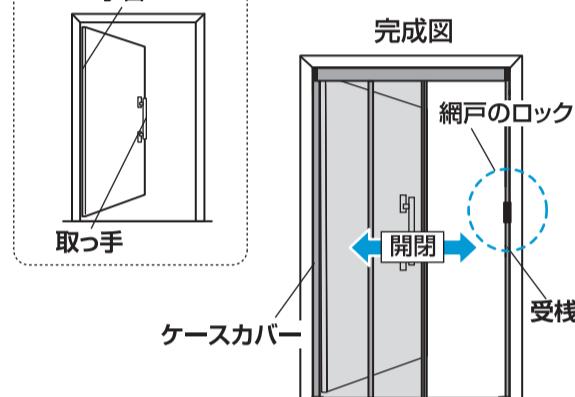
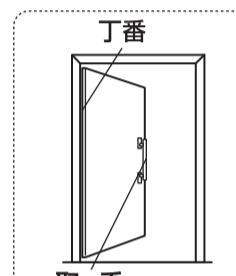


取付けの向きと完成図

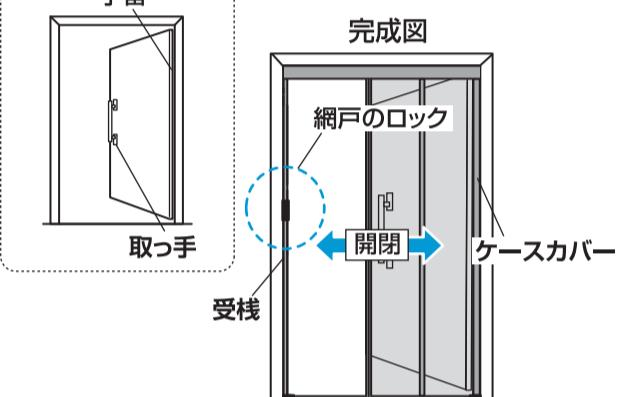
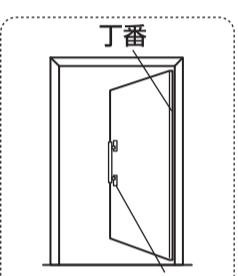
取付けるドアの **丁番側** と **取っ手側** を確認してください。

この取付説明書は①室内から見て右側に取っ手がある場合を例にして手順をすすめています。

① 室内から見て右側に取っ手がある場合



② 室内から見て左側に取っ手がある場合

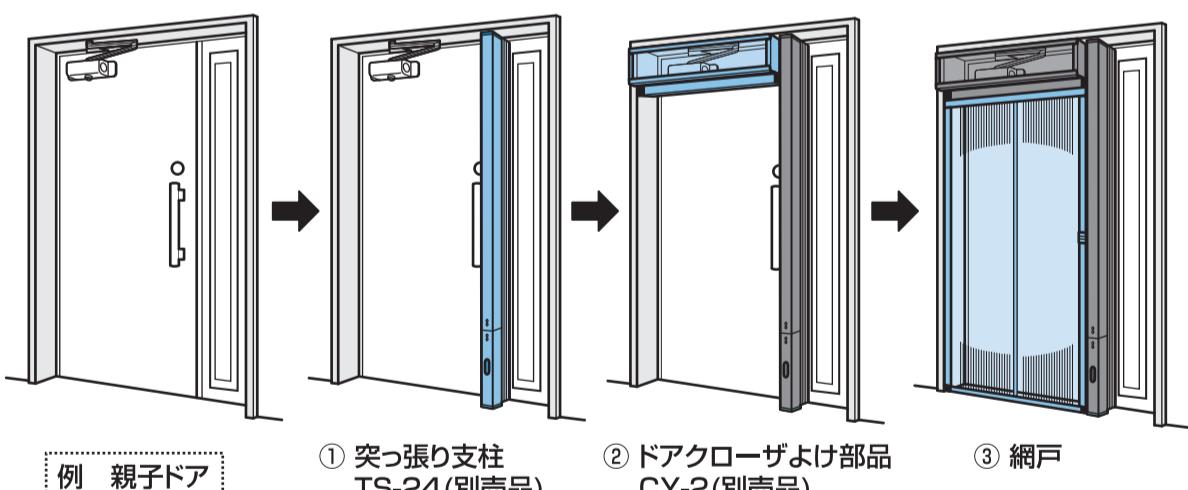


* 网戸はドア室内側の木の部分に取付けます(床を除く)。木以外の場合には下表をご参照ください。

木以外の材質		注意事項
壁紙	裏側の材質	木 ネジがさく場合は取付けできます。 石膏ボード ネジが空転してしまうため取付けできません。
スチール(鉄)・アルミ		そのままでは取付けできません。 下穴開けが必要となります。
コンクリート		取付けできません。

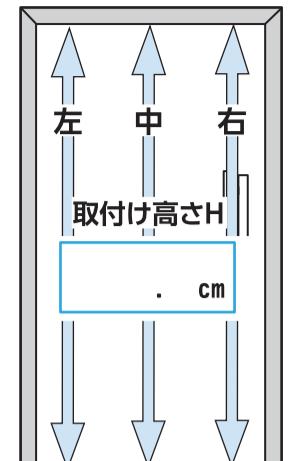
別売品の取付け順序について

スリム型ロータリー網戸を取付ける際、ドアの形状により、別売品の「突っ張り支柱」、「ドアクローザよけ部品」が必要となる場合がありますが、必ず下記の順序で取付けを行ってください。



2

タテ部材の切捨て寸法を求める

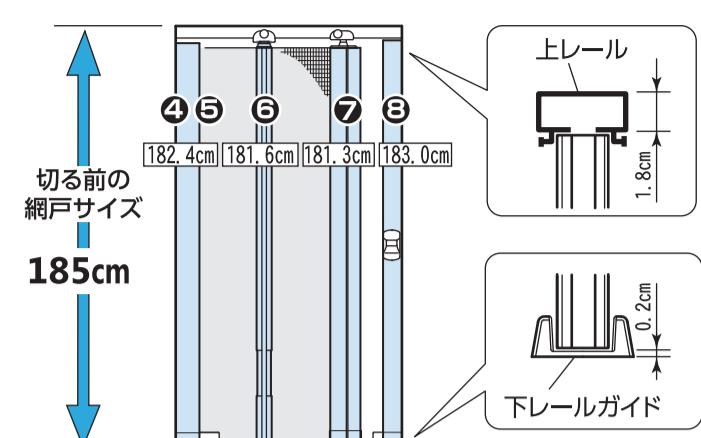


* 床から木枠の下面までの高さをメジャーを使用して正確に測ってください。左・中・右で多少寸法が異なることがあるので3ヶ所測って一番小さい寸法を「**取付け高さH**」としてください。切捨て寸法を下の式からもとめてください。

$$\text{切る前の網戸サイズ} \quad \text{取付け高さH} \quad \text{切捨て寸法}$$

$$185\text{cm} - \boxed{\text{cm}} = \boxed{\text{cm}}$$

⑧を切斷せずに使用すると上レールと下レールガイドの厚みを合わせて取付け高さH=183.0cm+1.8cm+0.2cm=185cmです。

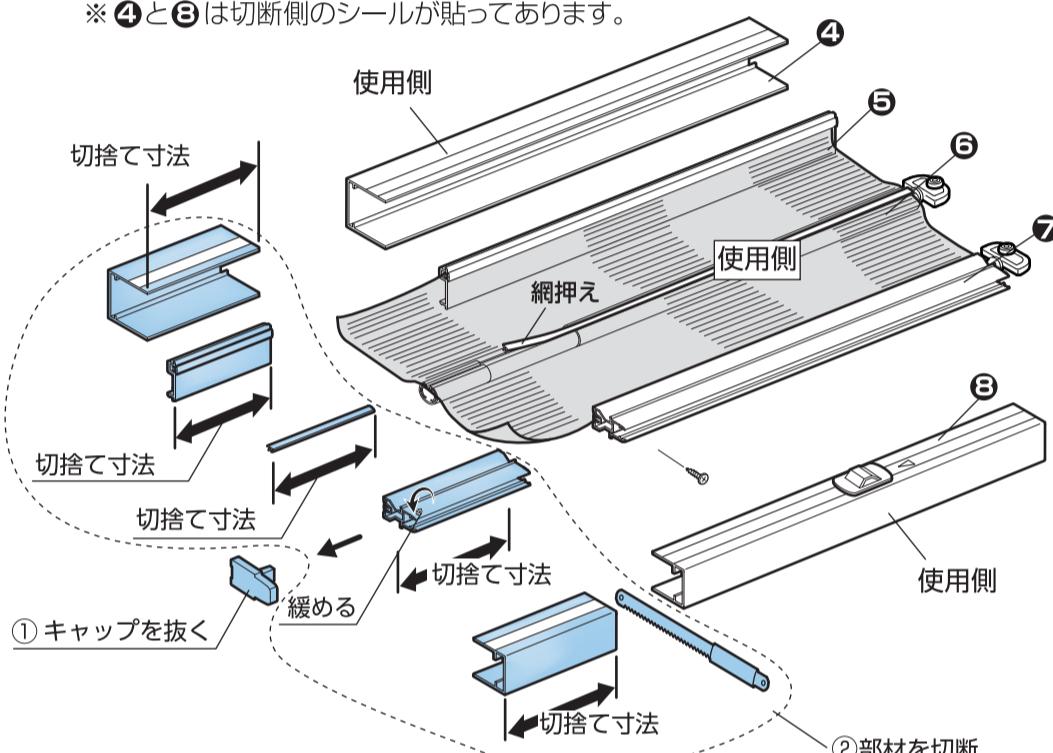


3

部材の切断 タテ

- ① タテ桿のキャップを抜きます。
- ② ④ケースカバー、⑤はめこみ桿、⑦タテ桿、⑧受桿はすべて下側と同じ『切捨て寸法』分の長さを切断します。
- ⑥巻軸は網押えのみ『切捨て寸法』分の長さを切断します。
(調整軸はウラ側のネジをゆるめればスライドできます。)
切断の際にはネットを傷つけないようにご注意ください。

* ④と⑧は切断側のシールが貼ってあります。

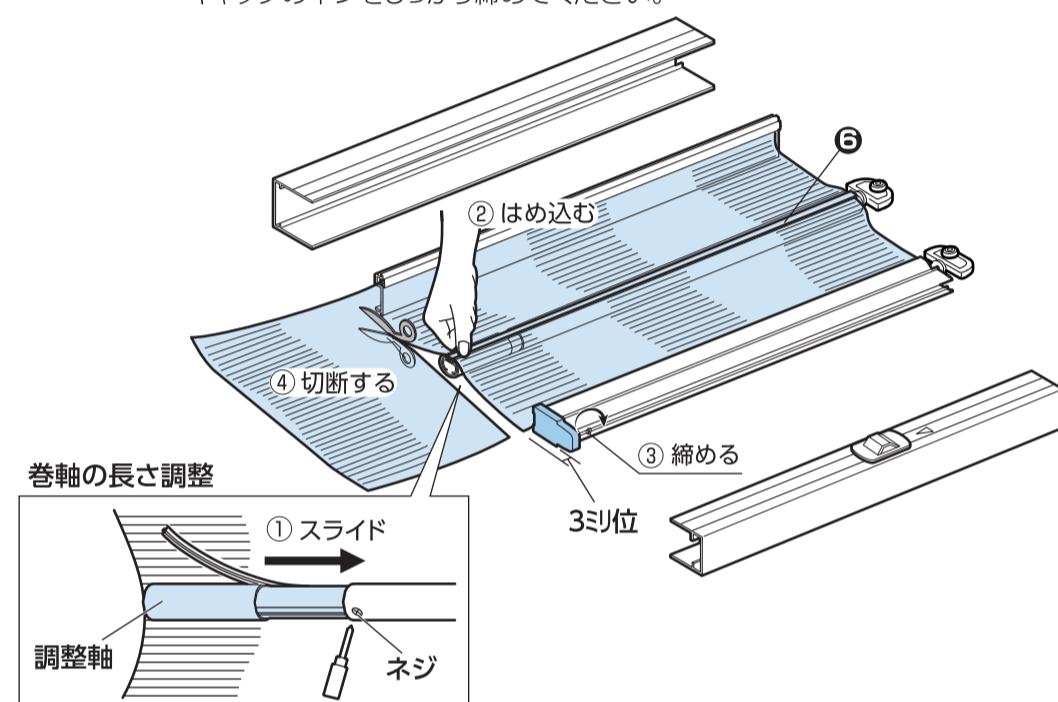


4

ネットの切断

- ① ⑥巻軸下部のネジをゆるめ、切った網押えの長さに調整軸をスライドさせ、ネジを締め固定します。
- ② 網押えを調整軸の溝にはめ込み、ネットを固定します。
- ③ タテ桿にキャップを差し込みネジを締めます。
- ④ ネットを部材より3ミリ位長めで切ってください。

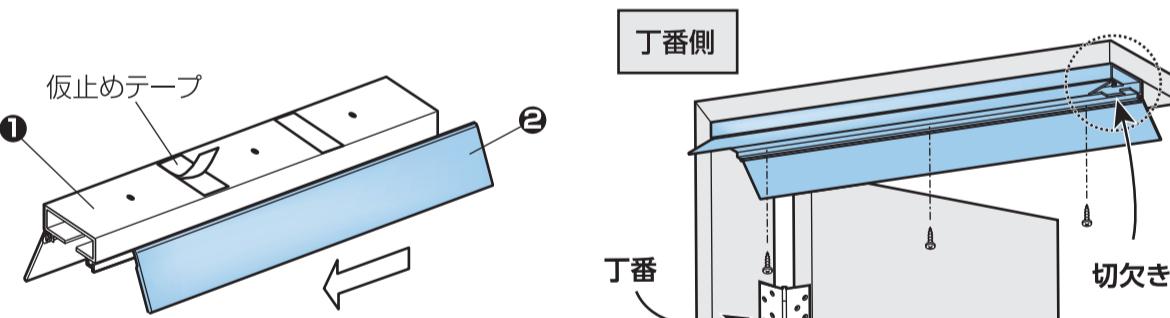
注意! 切断しないでご使用の場合(185cmで使用)でもネットを切り、キャップのネジをしっかりと締めてください。



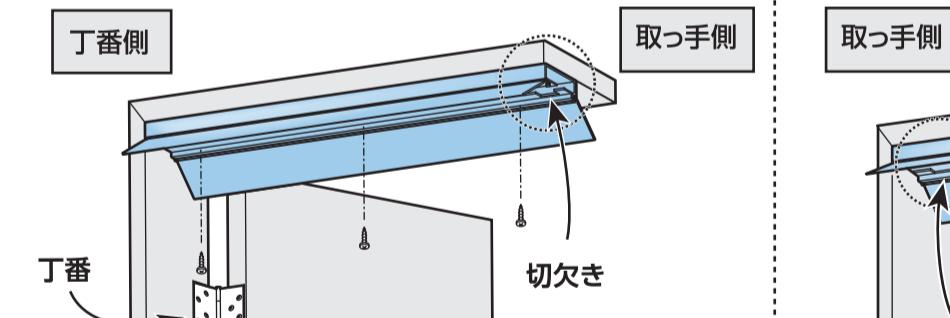
5

上レールの取付け

- ① ①上レールに②虫止めを両側とも差し込み、仮止めテープをはがします。
- ② 切欠きを取っ手側にして、仮止めして取付けネジで固定します。



取っ手が左側にある場合は左右逆向きに取付けてください。



* イラストは、①室内側から見て右側に取っ手がある場合です。

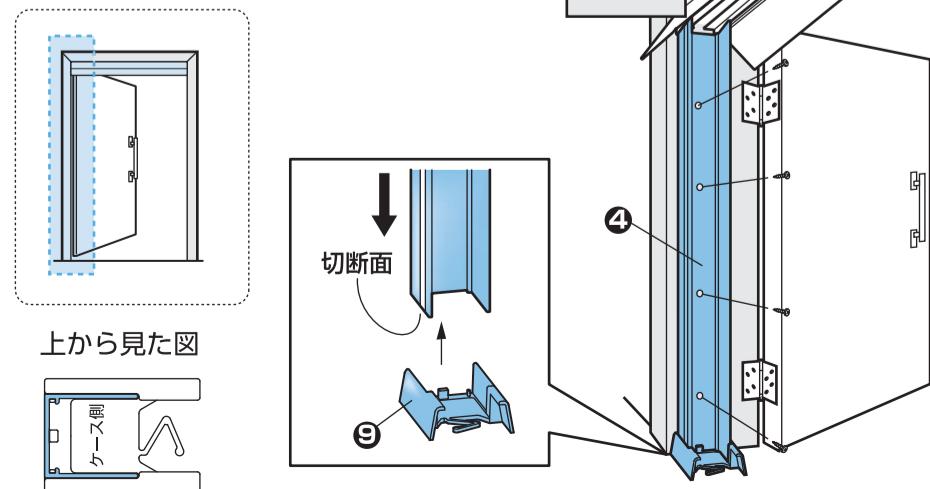
6

ケースカバー・下レールガイドの取付け

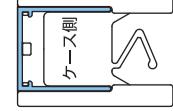
- ① ④ケースカバーは切断した方を下にします。
- ② ケースカバーの下側に⑨ケース側下レールガイドを取付けます。
- ③ ケースカバーを上レールの中心と合わせ、垂直になるように下に突き当て、取付けネジで取付けます。

* 必ずすべての穴をネジ止めしてください。

* ドア丁番側に取付けます。



上から見た図



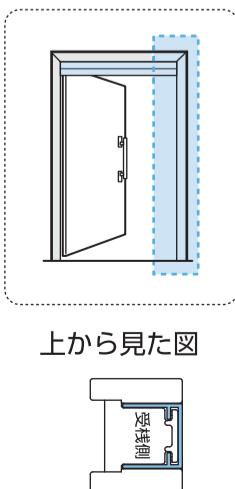
7

受桿・下レールガイドの取付け

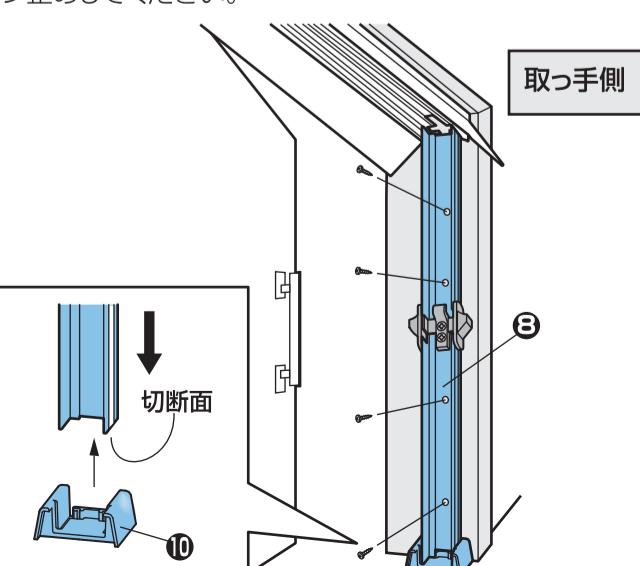
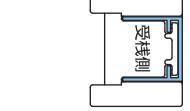
- ① ⑧受桿は切断した方を下にします。
- ② 受桿の下側に⑩受桿側下レールガイドを取付けます。
- ③ 受桿を上レールの中心と合わせ、垂直になるように下に突き当て、取付けネジで取付けます。

* 必ずすべての穴をネジ止めしてください。

* 取っ手側に取付けます。

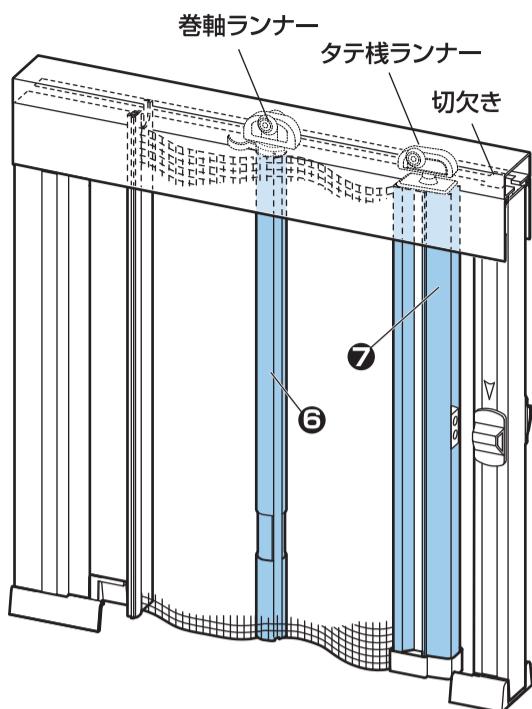


上から見た図



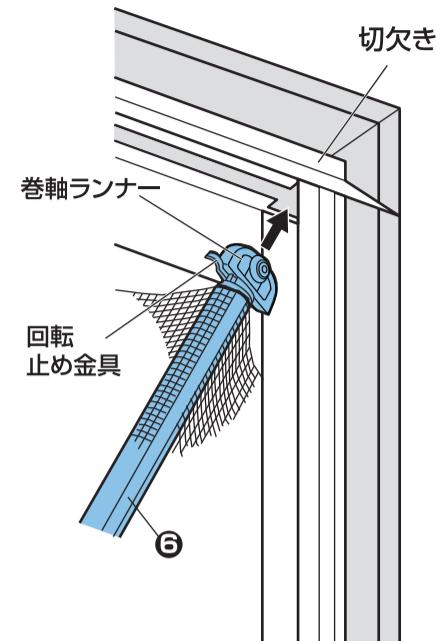
取っ手側

上レールにランナーを入れる



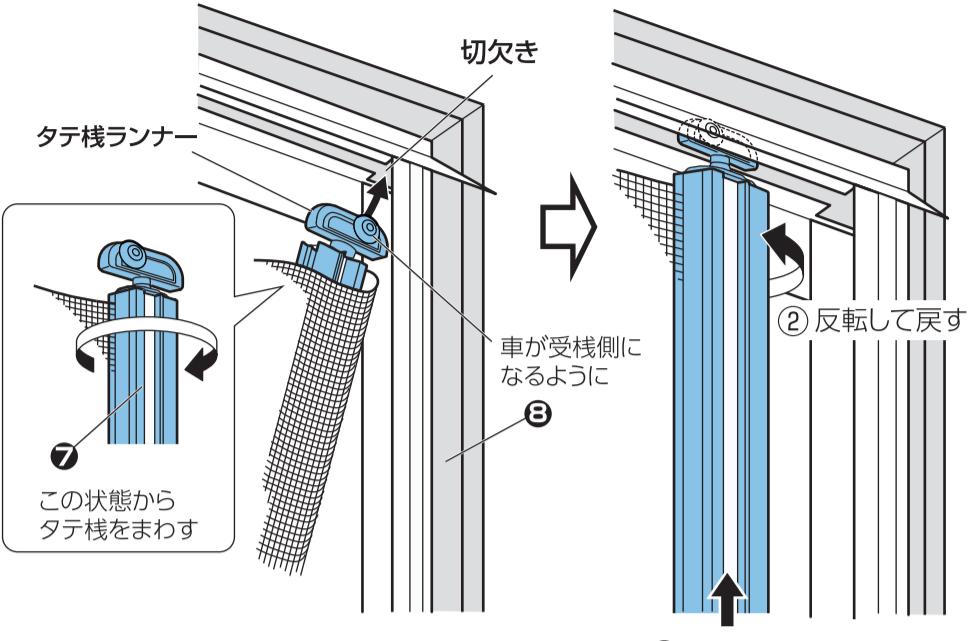
1 巻軸ランナーを入れる

⑥ 巻軸を斜めにして、上レールの切欠きより巻軸ランナーを入れます。



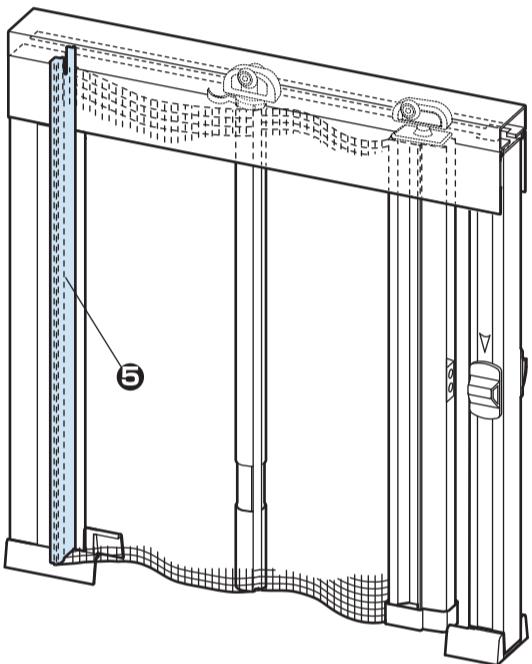
2 タテ桟ランナーを入れる

⑦ タテ桟を図のようにまわして上レールの切欠きから斜めにして入れます。上レールに入ったらタテ桟を上レールに押し上げながら反転して戻してください。



① 押し上げ
② 反転して戻す

はめ込み桟をはめ込む

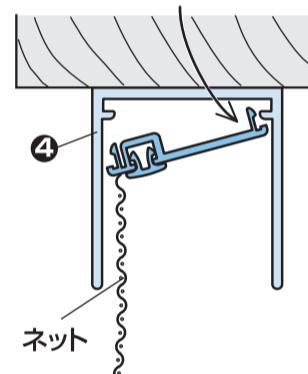


⑤ はめ込み桟をケースカバーの中に入れ、網押えが無い側の足を先に入れて、網押え側を指で強く押します。上から下へパチンパチンと順々に押し付けしっかりとはめ込みます。

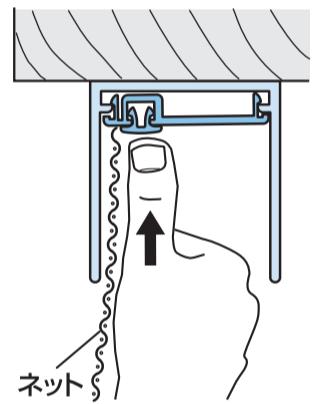
ポイント

断面図

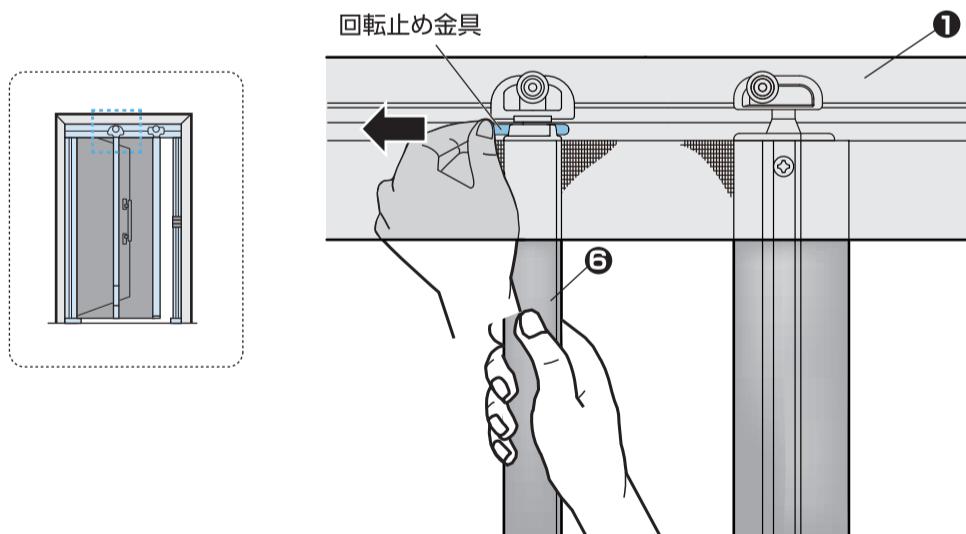
こちらを先に入れます。



反対側を指で強く押します



回転止め金具を抜く



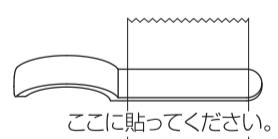
① ⑥ 巻軸を手で握ってしっかりと押さえます。

② 回転止め金具を矢印の方向に抜きます。シール部分を引張るとシールが破れる恐れがあるので金具を持ってください。

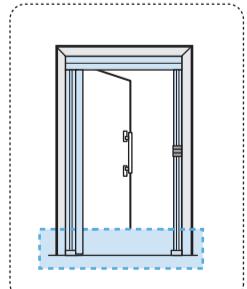
③ 巻軸を押さえた手をゆっくりと離してください。回転力が発生し巻軸にネットが巻き取られます。

! 取付け前に回転止め金具が抜けてしまった場合や巻き取りスピードを調整したい場合には、巻軸ランナーの巻き方をご覧ください。

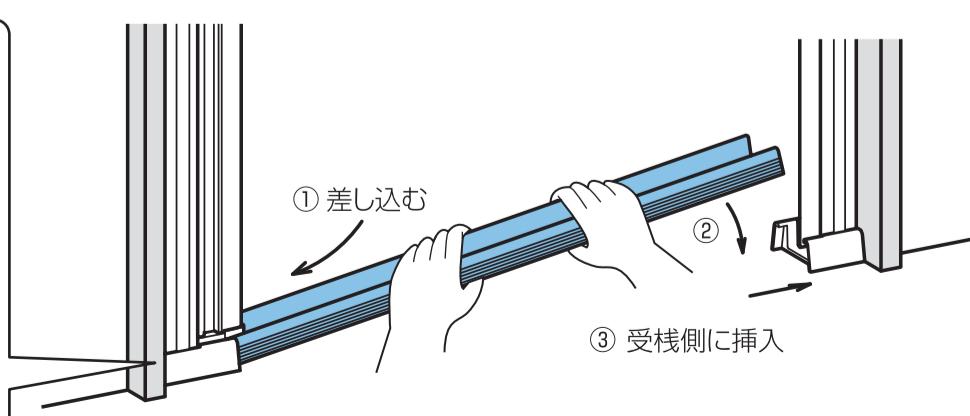
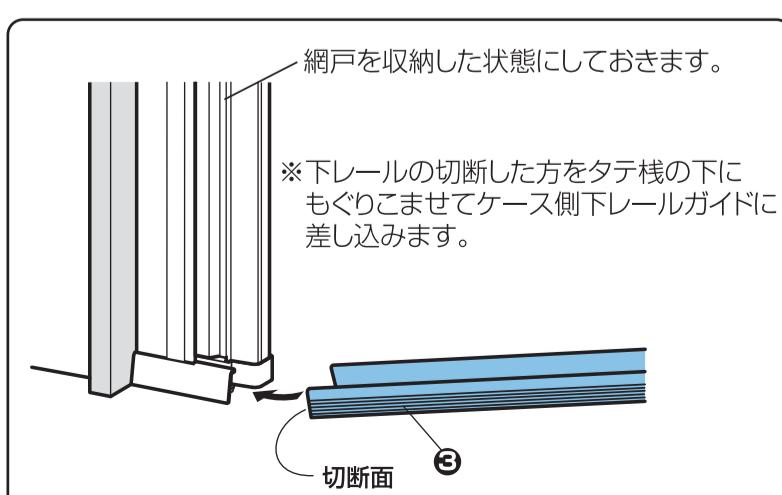
○ 回転止め金具は、網戸本体を取りはずす時やネット交換の時に必要となりますので、セロテープでここに貼付けて、大切に保管しておいてください。



下レールの取付け



● 下レールを蹴る等の強い衝撃を与えると、下レールや下レールガイドが破損する場合がありますので十分ご注意ください。
● 取り外した下レールは水平又は垂直に保管してください。斜めにたてかけたりすると、変形する恐れがあります。



取り扱いについて

安全上のご注意

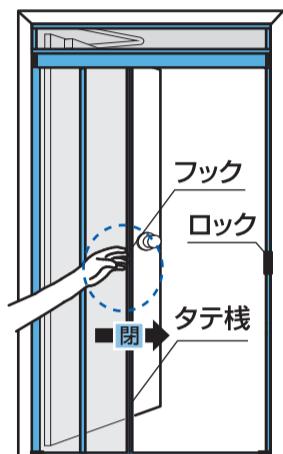
●ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容	・網戸に寄りかかったり、蹴る等の強い力はかけないでください。 網戸のはずれなどにつながり、ケガをしたり損害を与えることがあります。 ・本製品のロックは、防犯には役立ちません。戸締まり時は必ずドアで施錠してください。 ・ネットにタバコの火などの火気は絶対に近づけないでください。
⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容	・強風時には使用しないでください。風により自動収納しない場合があります。 ・網戸を開閉する際、指をはさまないようにご注意ください。 ・無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、ケガや破損の原因となりますのでご注意ください。 ・下レールにゴミ等がたまると網戸がスムーズに開閉できなくなります。 下レールとその周辺はこまめに掃除してください。

網戸の開閉操作方法

閉めるとき

タテ桿のフック近辺を持って丁寧に操作し、ロックにかけてください。



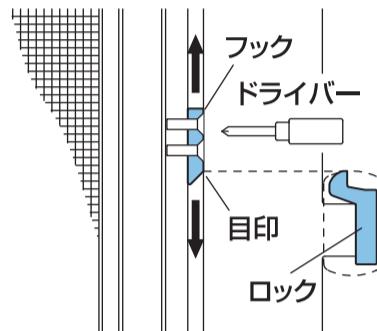
開けるとき

受桿のロックを指で軽く下げてください。



ロックのかかり調整

タテ桿フックのネジを2本ゆるめて、目印を受桿ロックの先端に合わせてネジを締めてください。



電動工具



電動ドライバーは使用しないでください。
強く締めすぎると、タテ桿が変形しロックがかからなくなります。

お手入れ方法

- 日常的には乾いた布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤で洗い、その後カラ拭きしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- たわしや金属ブラシなどでこすらないでください。破損やキズの原因となります。
- ネットが破損した場合には、「取替えネット スリム型ロータリー網戸SRA-1用」(別売品)を販売店よりお求めください。

こんな場合のチェック方法

●ネットにしわができるとき

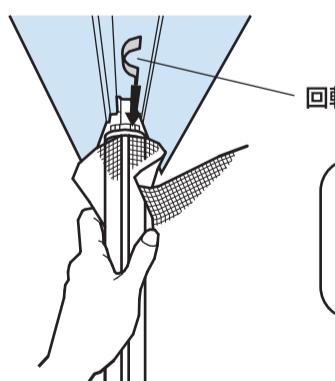
いったんネットをひろげ、しわをとつて巻軸に巻取らせます。

●巻取りにくいとき

下レール面に巻軸、タテ桿キャップ、ネット等がこすってないか確認してください。
それでも動きが悪い場合には、上レールの溝部およびランナーに潤滑剤を塗布してください。
(潤滑剤は市販の油性またはシリコーン性のものをご使用ください。)

網戸本体をはずす場合

- (1) 巣軸の網押さえを図のように上レールの溝の向きにして回転止め金具を差し込んでください。回転止め金具を紛失した場合は、取り外すと回転力が失われます。再度取付ける場合は **巻軸ランナーの巻き方** の要領で行ってください。



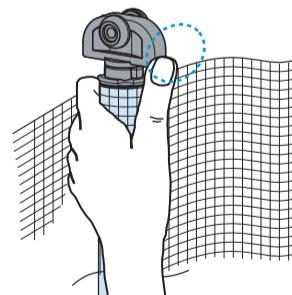
⚠ 注意

ランナーをはずす際、回転止め金具を差し込まないと巻軸ランナーは、急に回転しますので十分ご注意してください。

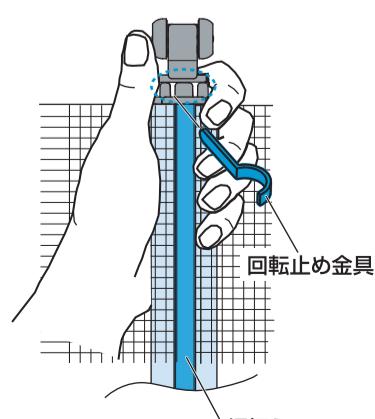
- (2) **巻軸ランナー**には元に戻るバネの回転力が働いています。

巻軸を持つ手の親指で半回転ごとにおさえながら20回転巻きます。
スピードを調整する場合は18回転～22回転の範囲で調整してください。

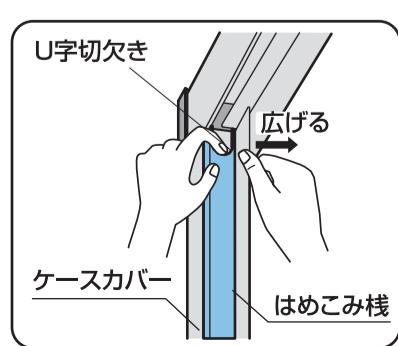
遅い 標準 速い
18回転 20回転 22回転



- (3) 巻き終えたら図の方向から見える隙間に**回転止め金具**を挿入します。
巻軸ランナーの角度があわないと挿入しづらいので注意してください。



- (2) U字形の切欠きを利用して、はめ込み桿をはずします。
(3) 取付け順序 8 の 2 の作業を逆におこなってタテ桿をはずします。
(4) 巣軸を上レールの切欠きよりはずします。



⚠ 保管する時の注意

タテ桿を芯にしてネットをきっちりと巻き、紙等にくるんで垂直に保管してください。
巻かずに長期間斜めにたてかけると部材が曲がる場合があります。